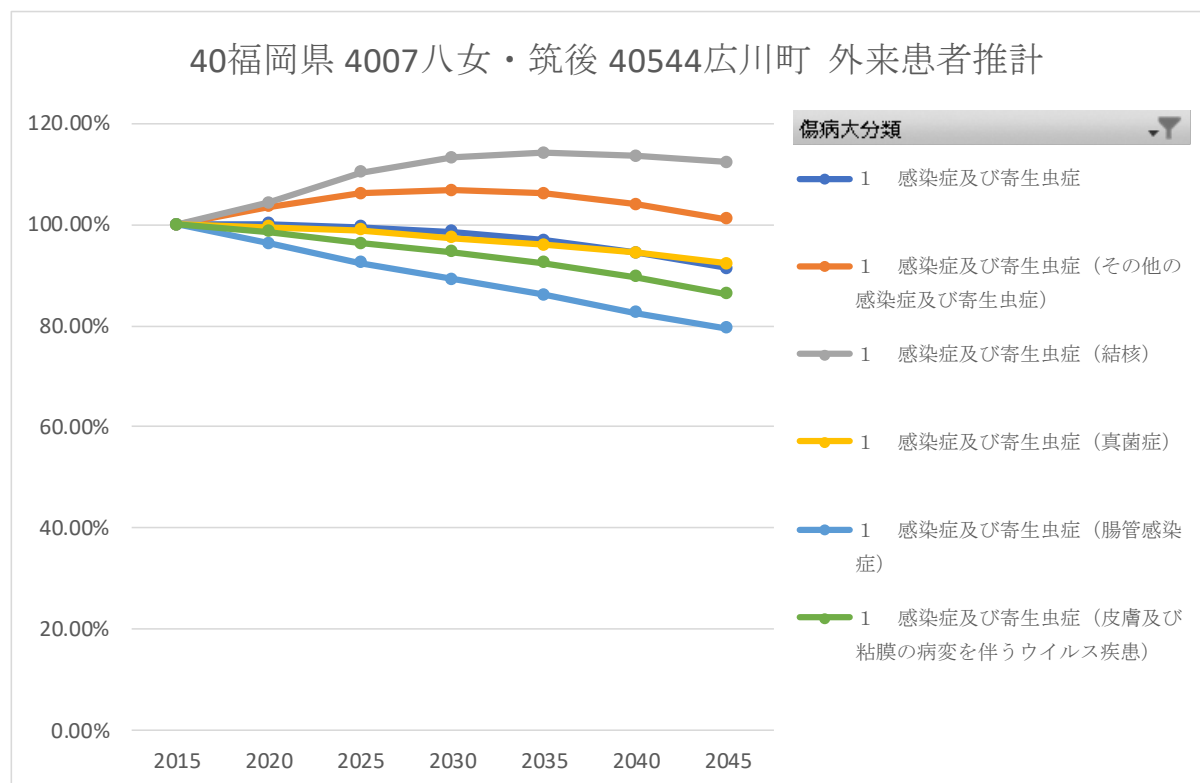


傷病大分類別の 将来外来患者推計について

4007八女・筑後構想区域 40544広川町

1 感染症及び寄生虫症

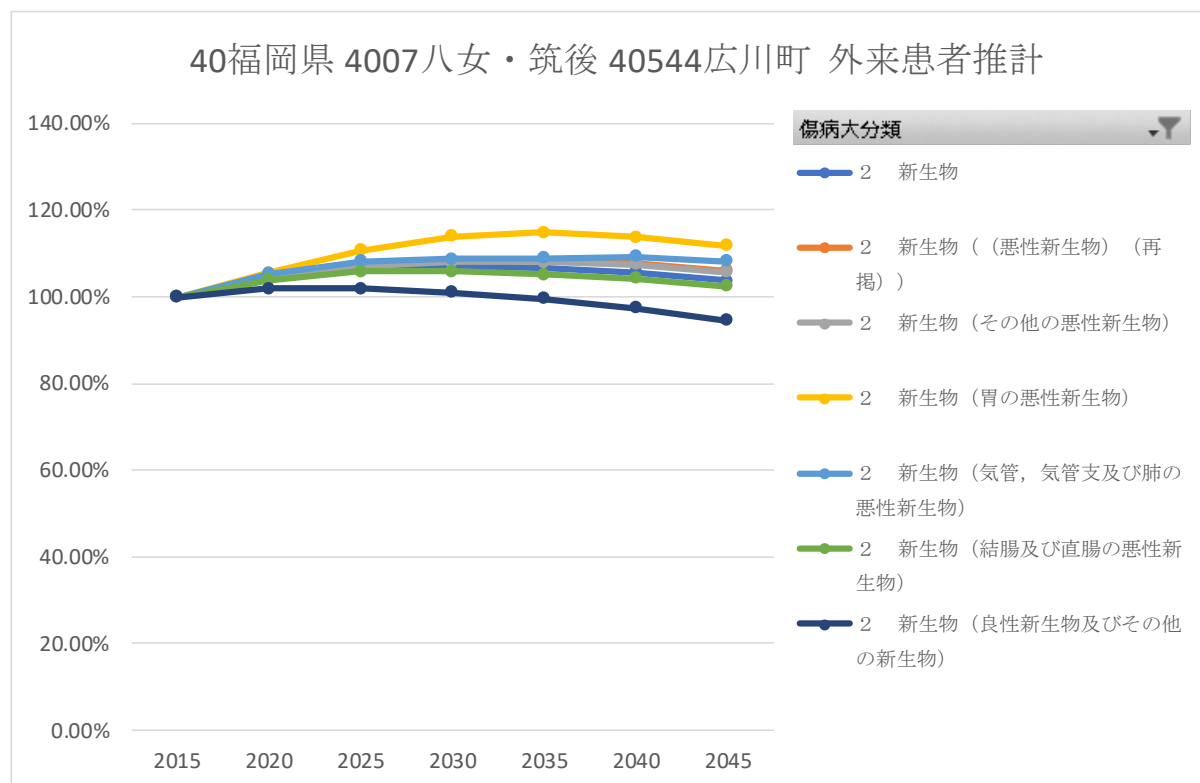


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

2 新生物＜腫瘍＞

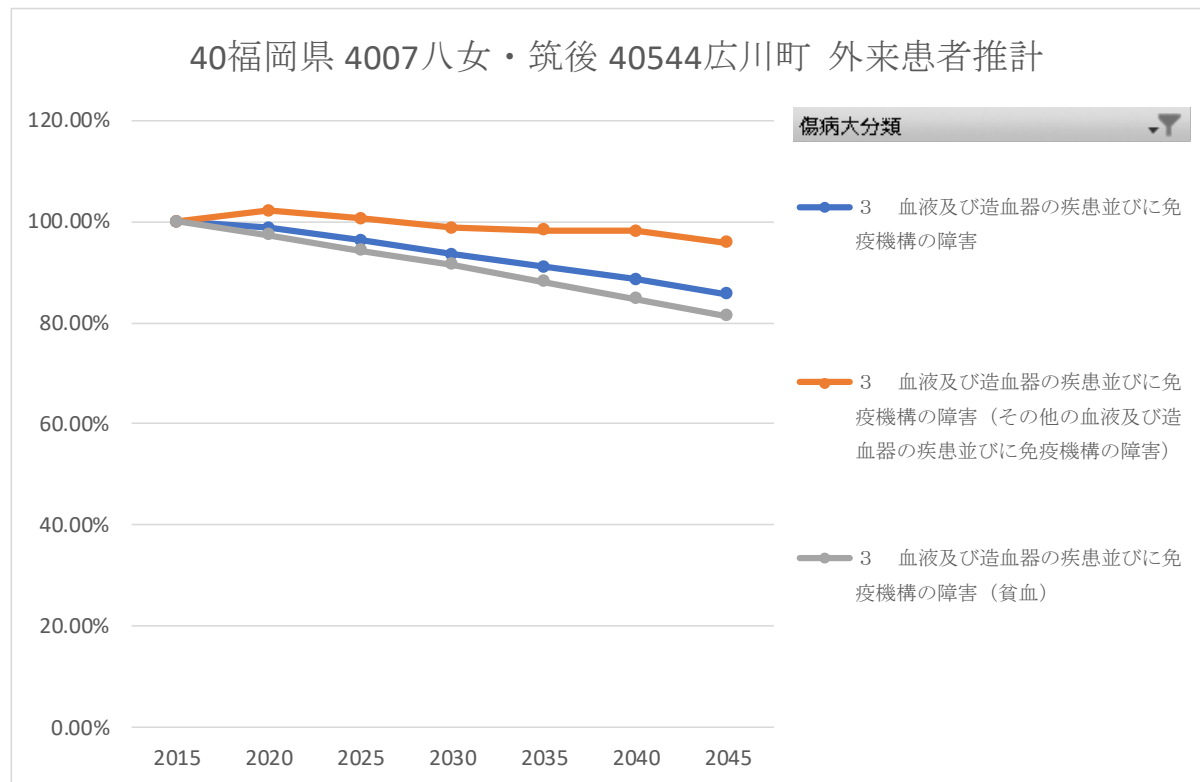


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

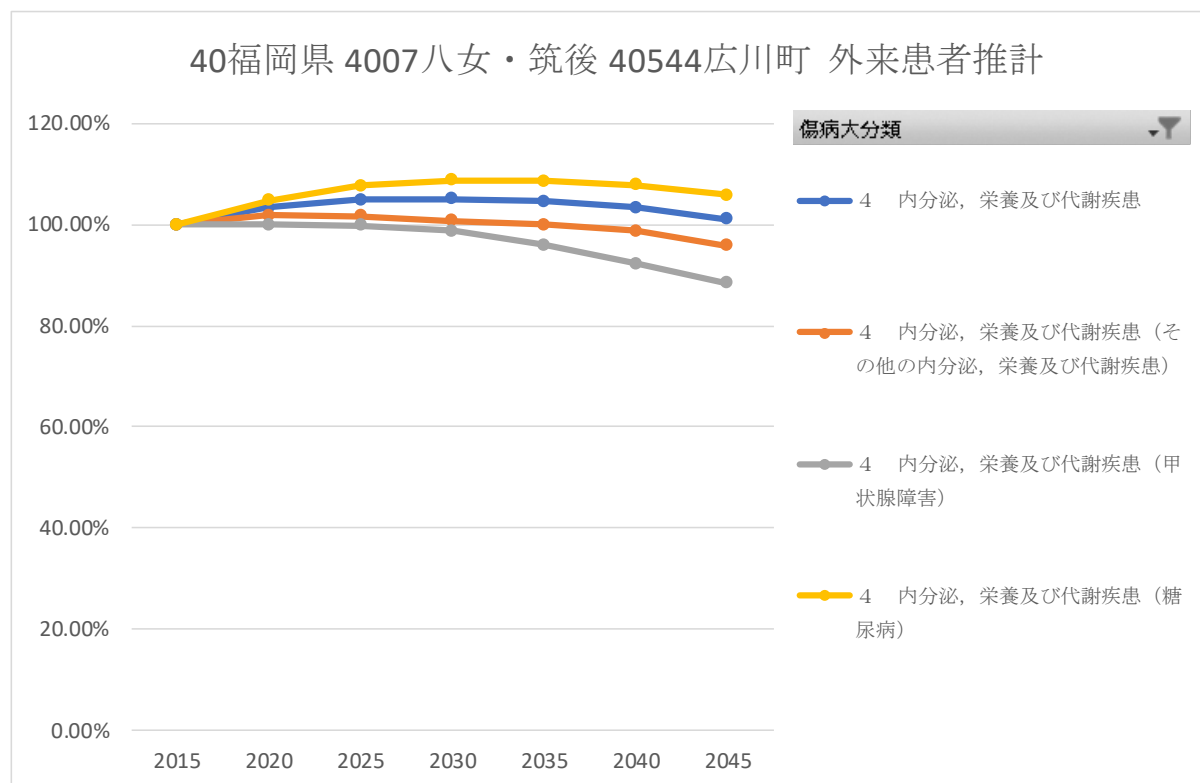


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

4 内分泌，栄養及び代謝疾患

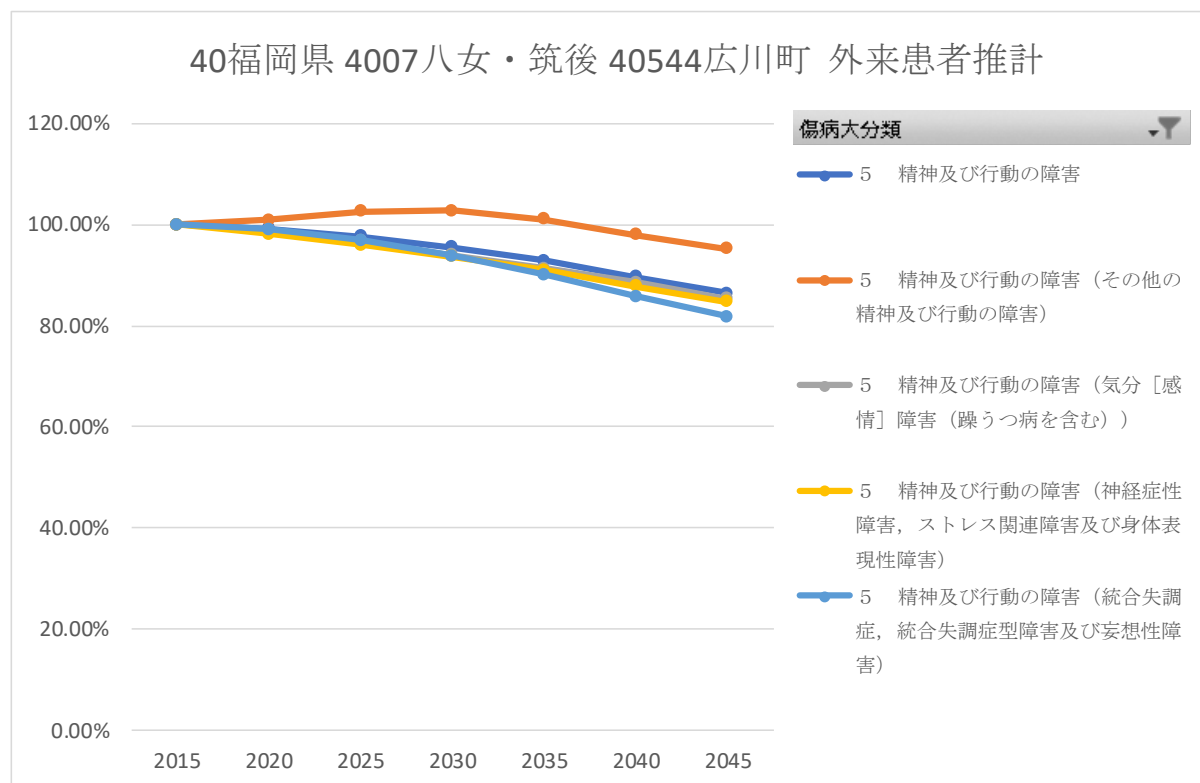


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

5 精神及び行動の障害

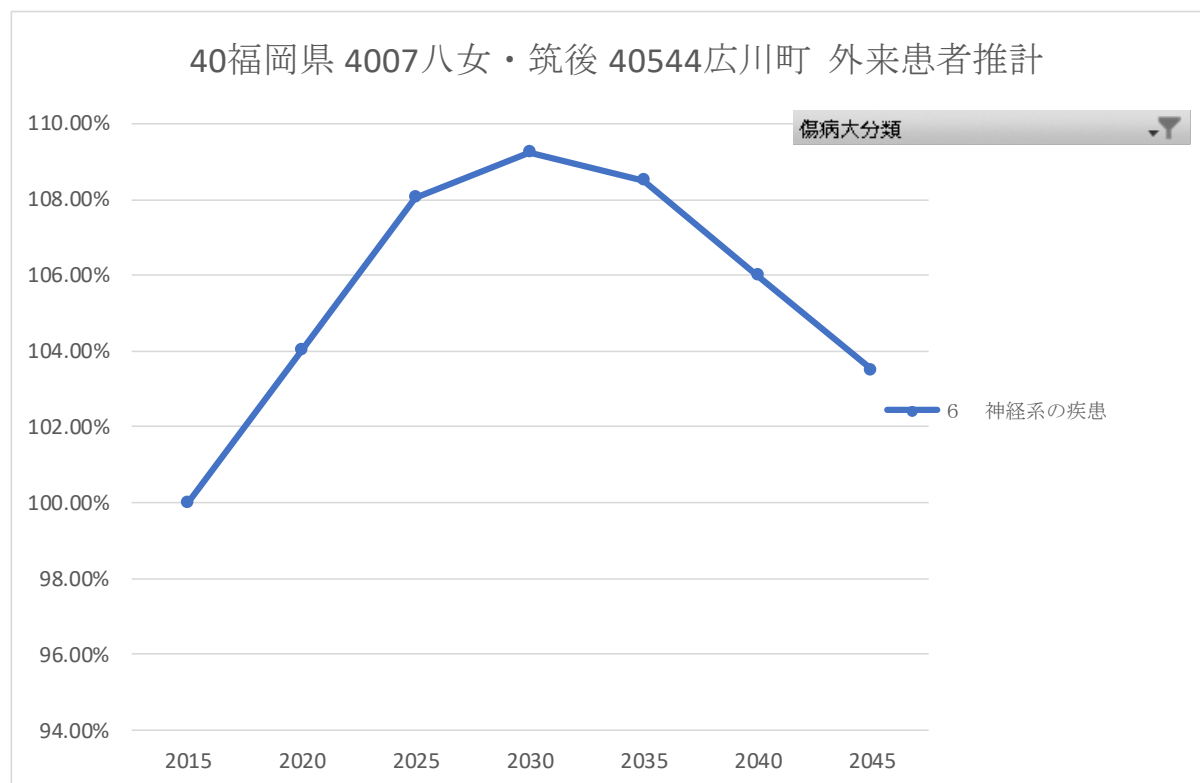


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

6 神経系の疾患

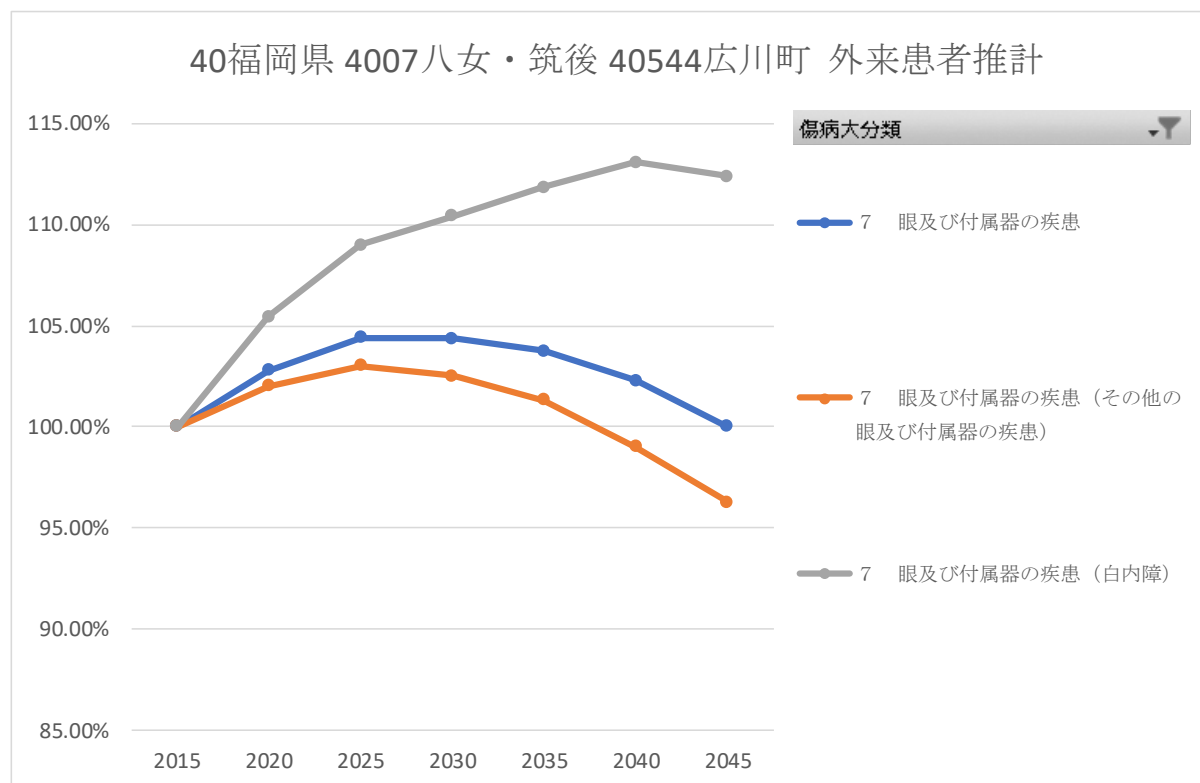


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

7 眼及び付属器の疾患

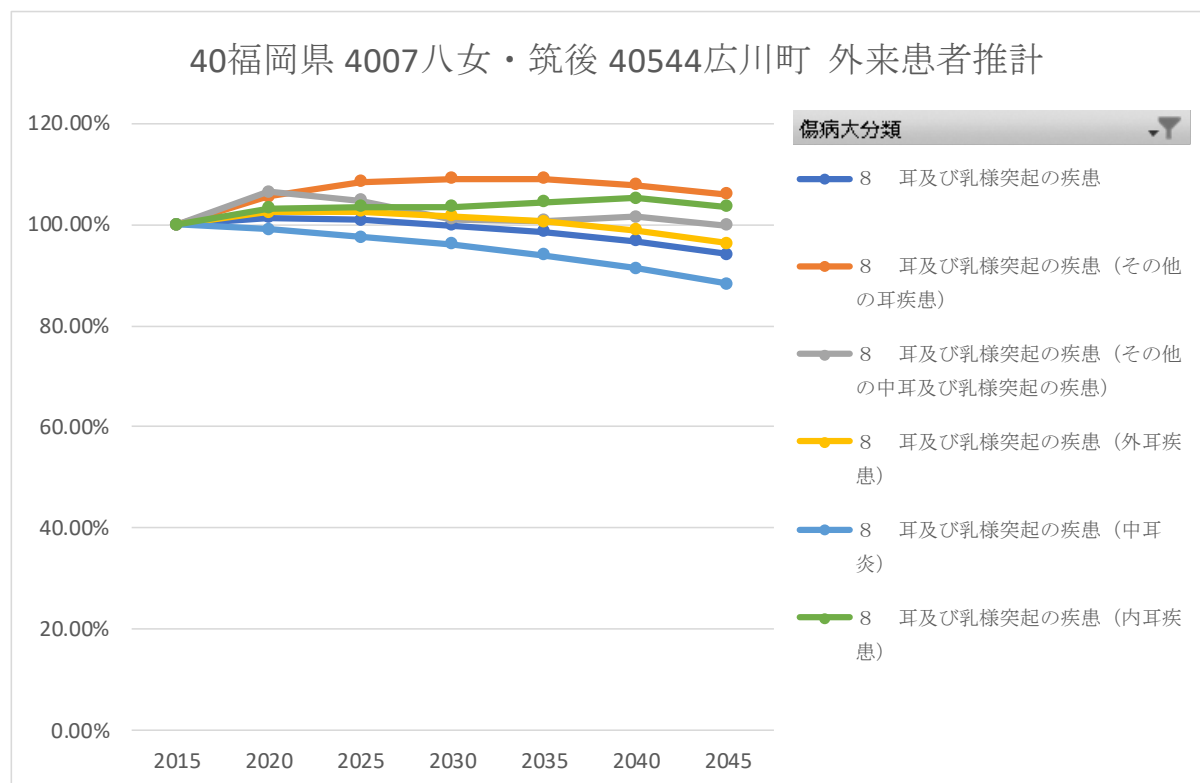


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

8 耳及び乳様突起の疾患

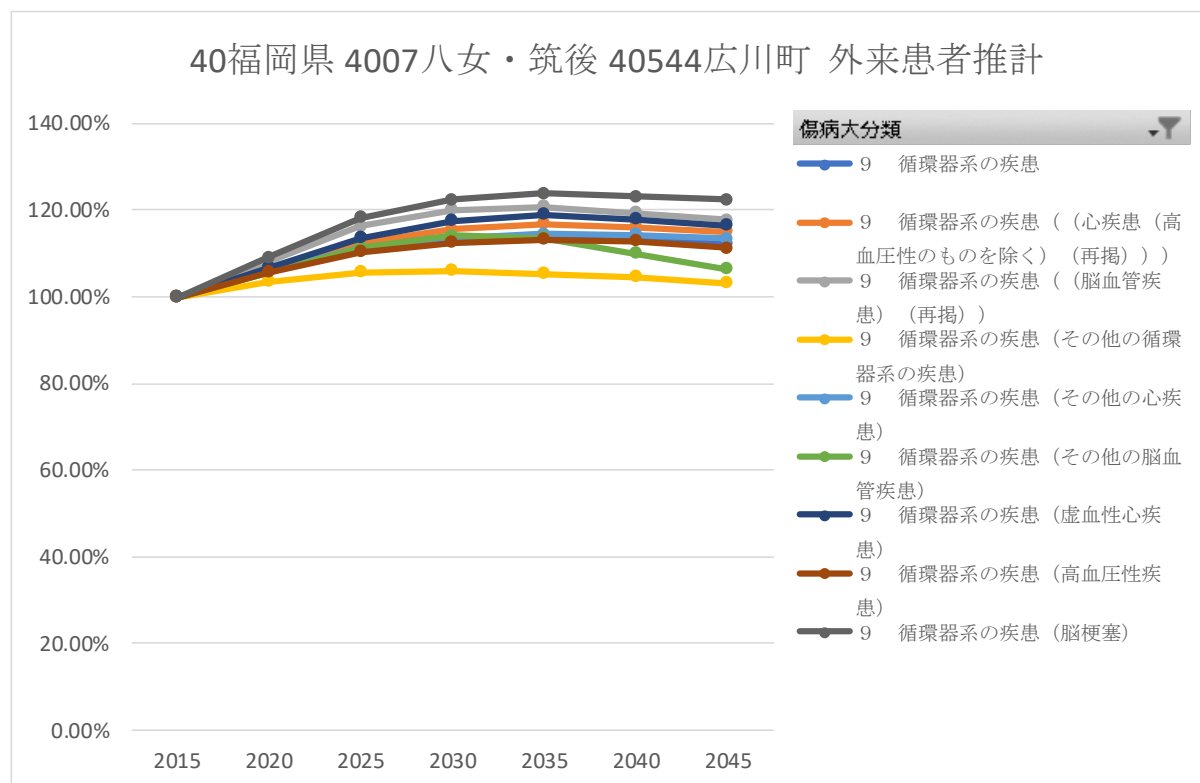


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

9 循環器系の疾患

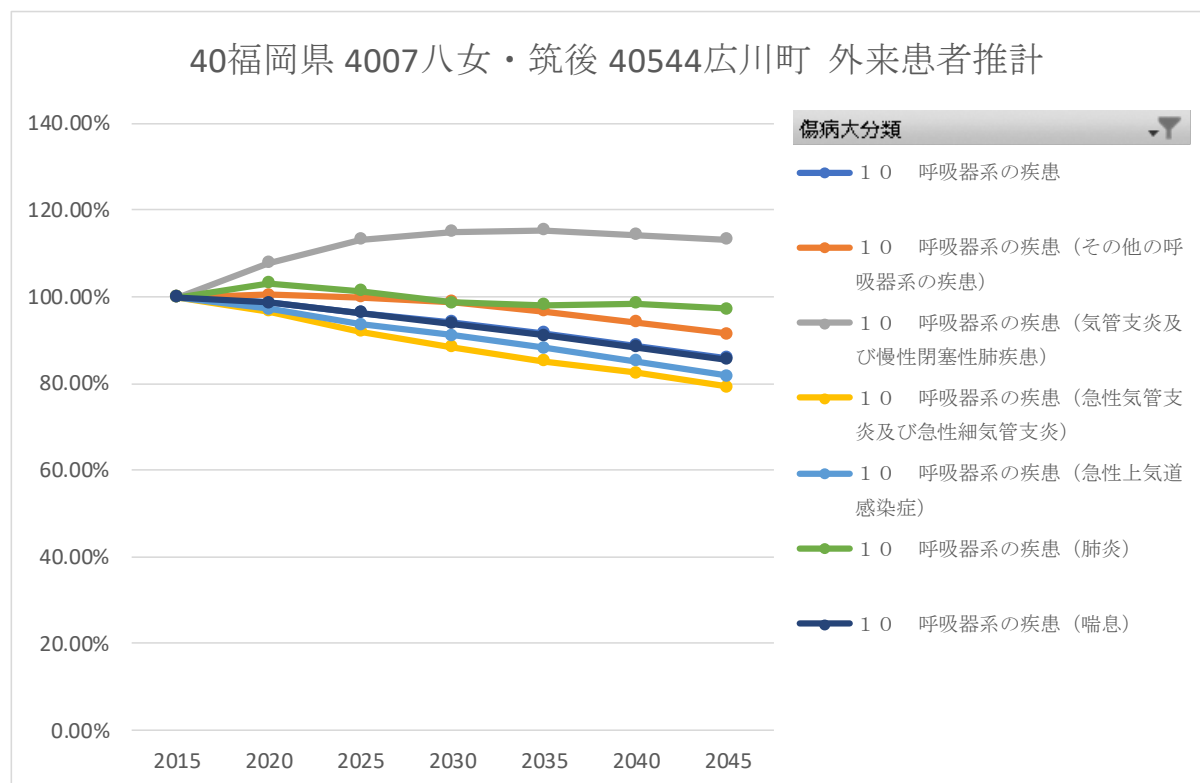


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

10 呼吸器系の疾患

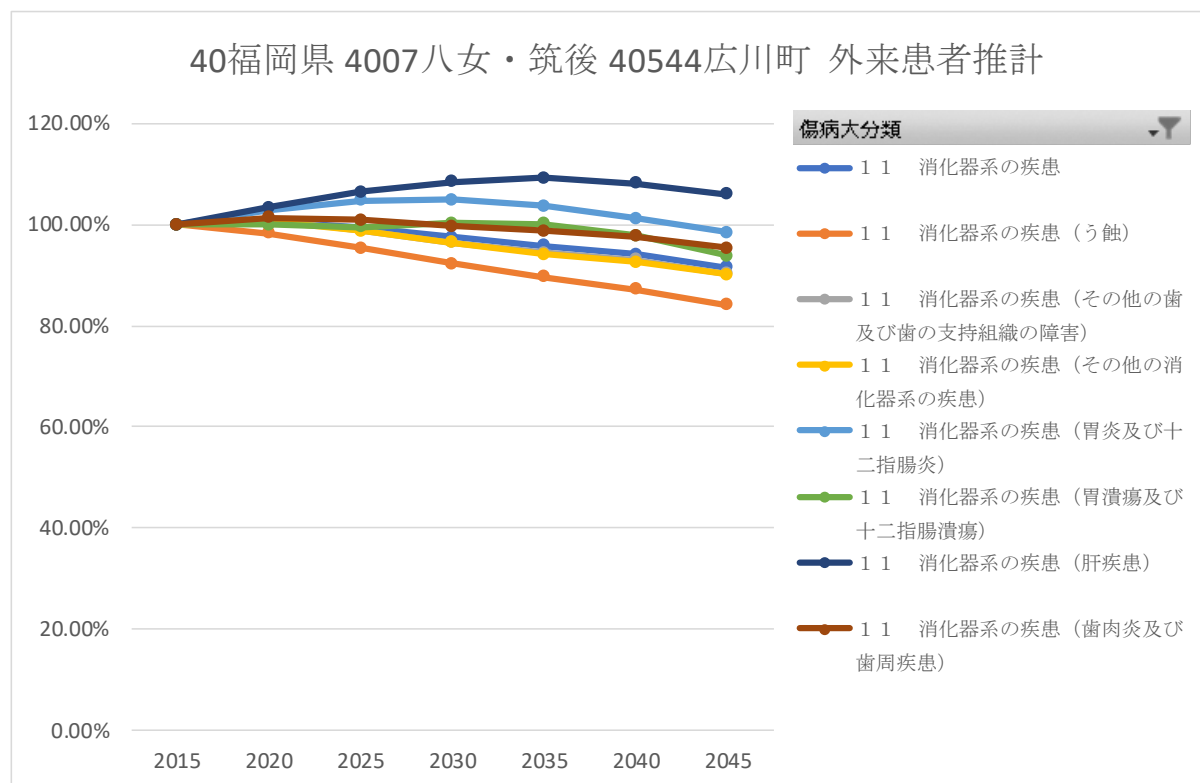


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 1 消化器系の疾患

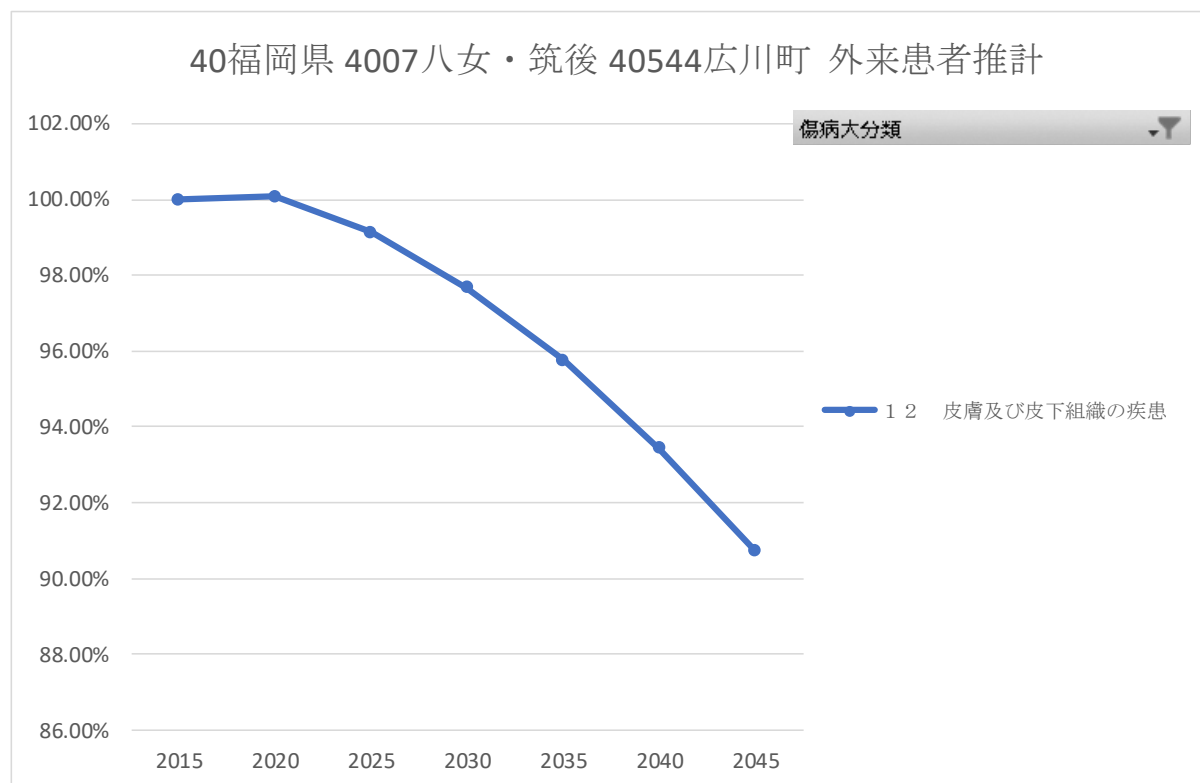


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 2 皮膚及び皮下組織の疾患

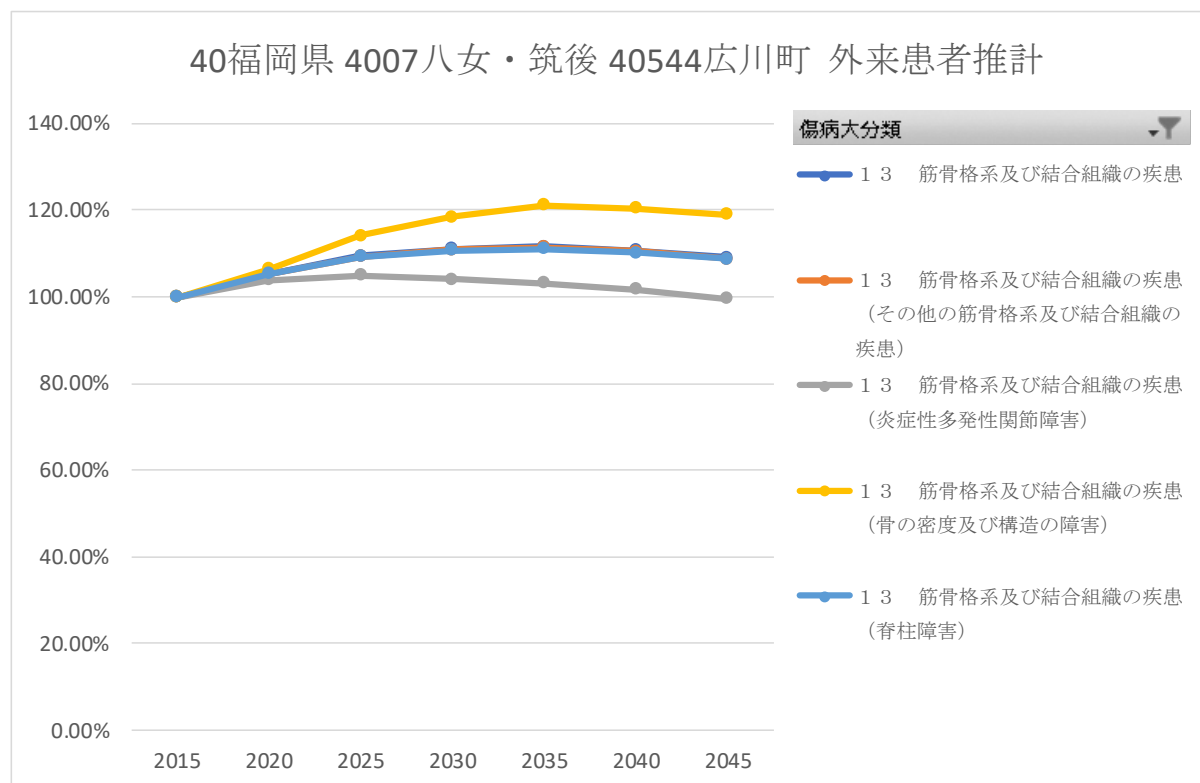


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 3 筋骨格系及び結合組織の疾患

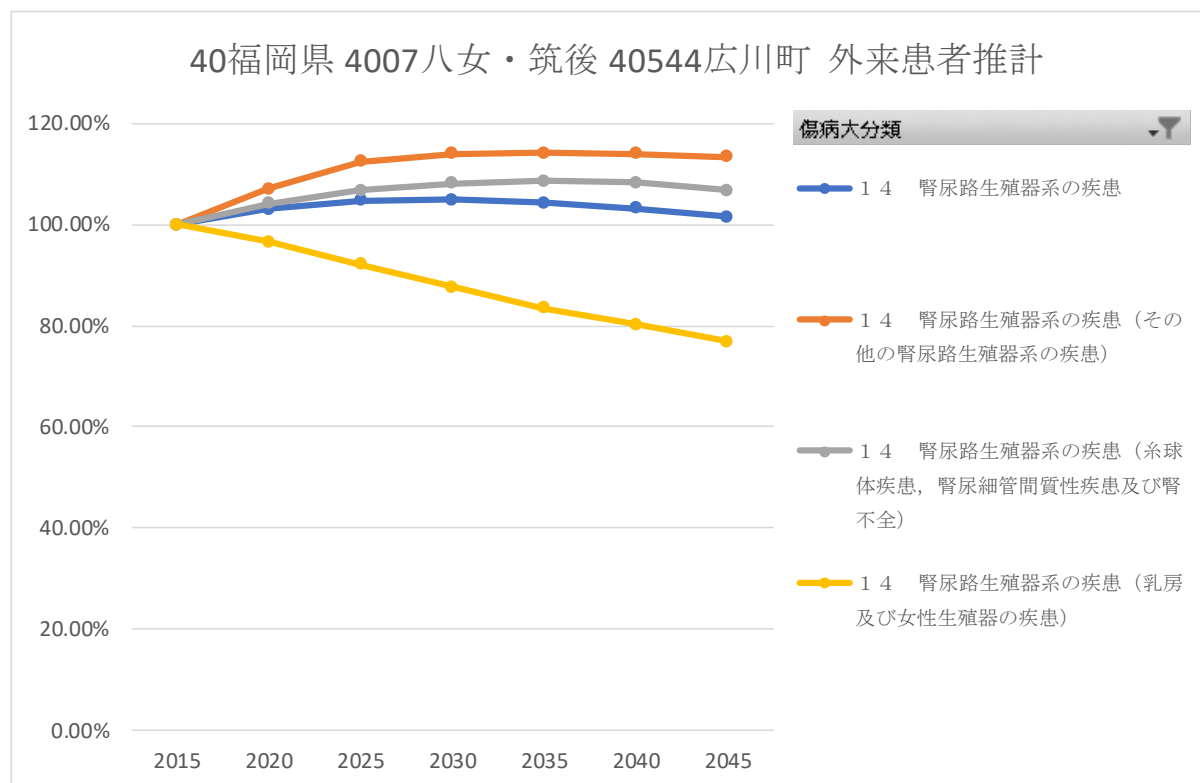


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 4 腎尿路生殖器系の疾患

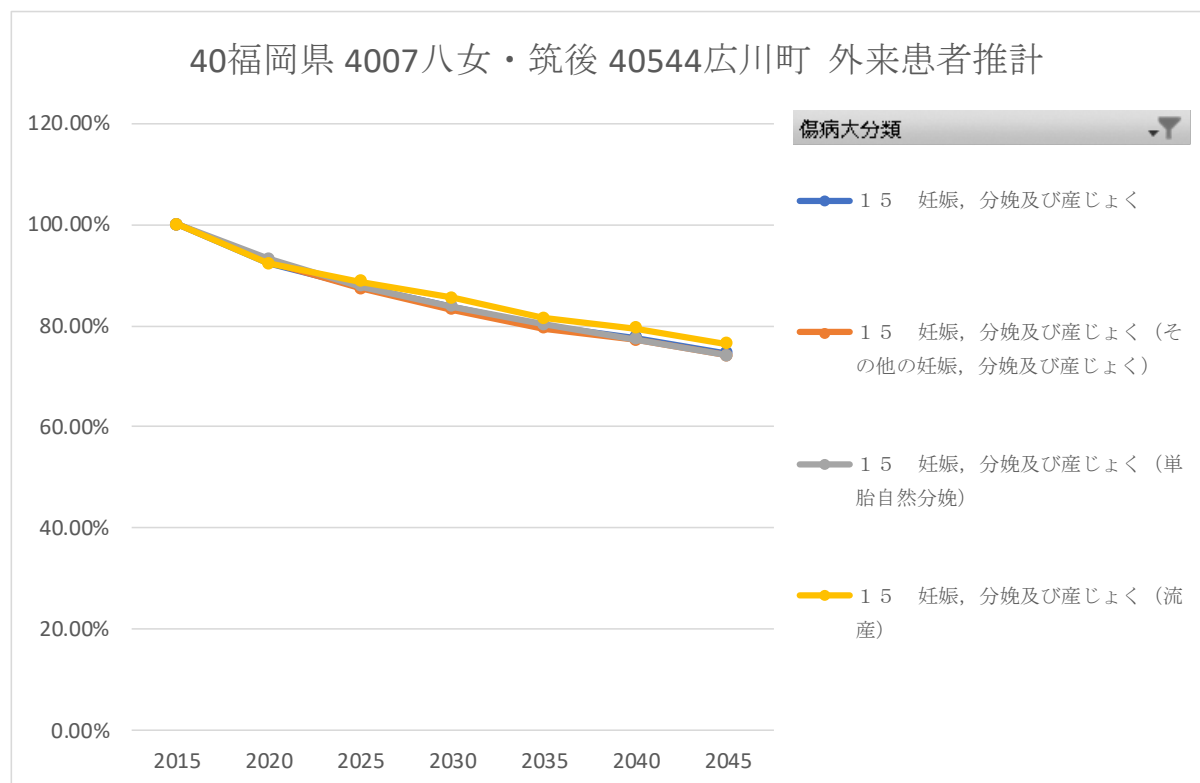


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 5 妊娠, 分娩及び産じょく

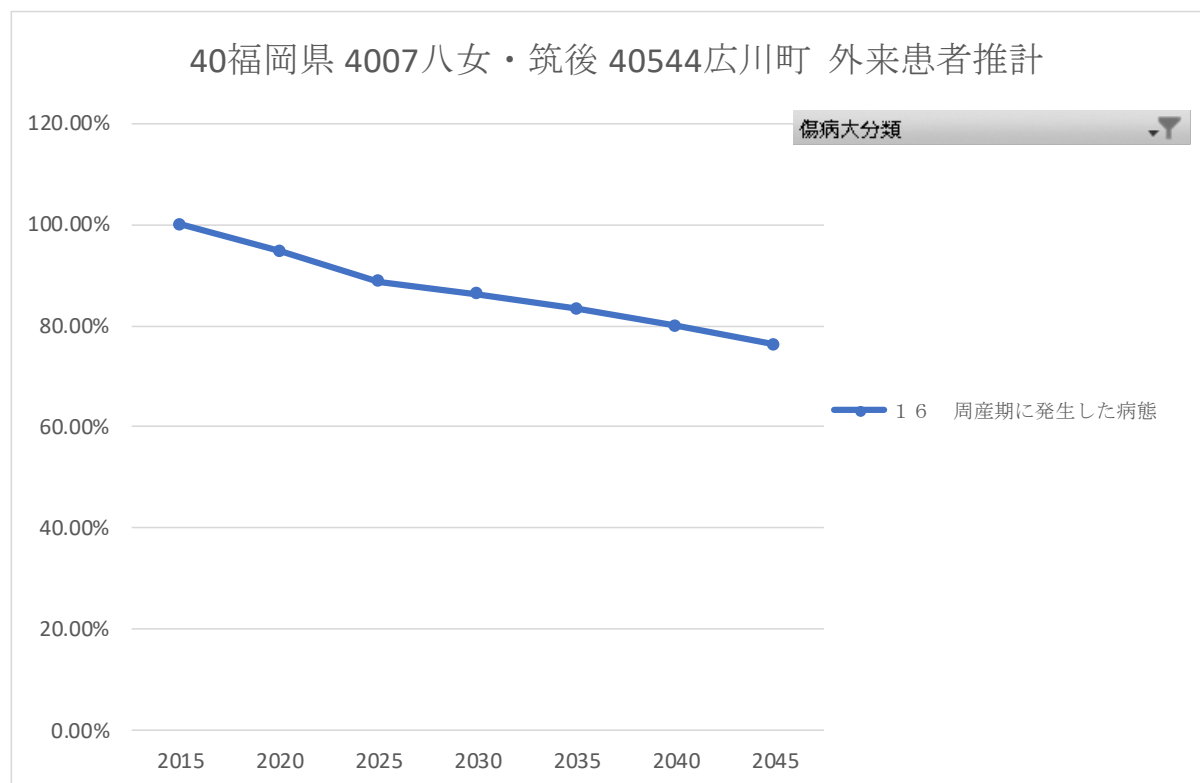


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 6 周産期に発生した病態

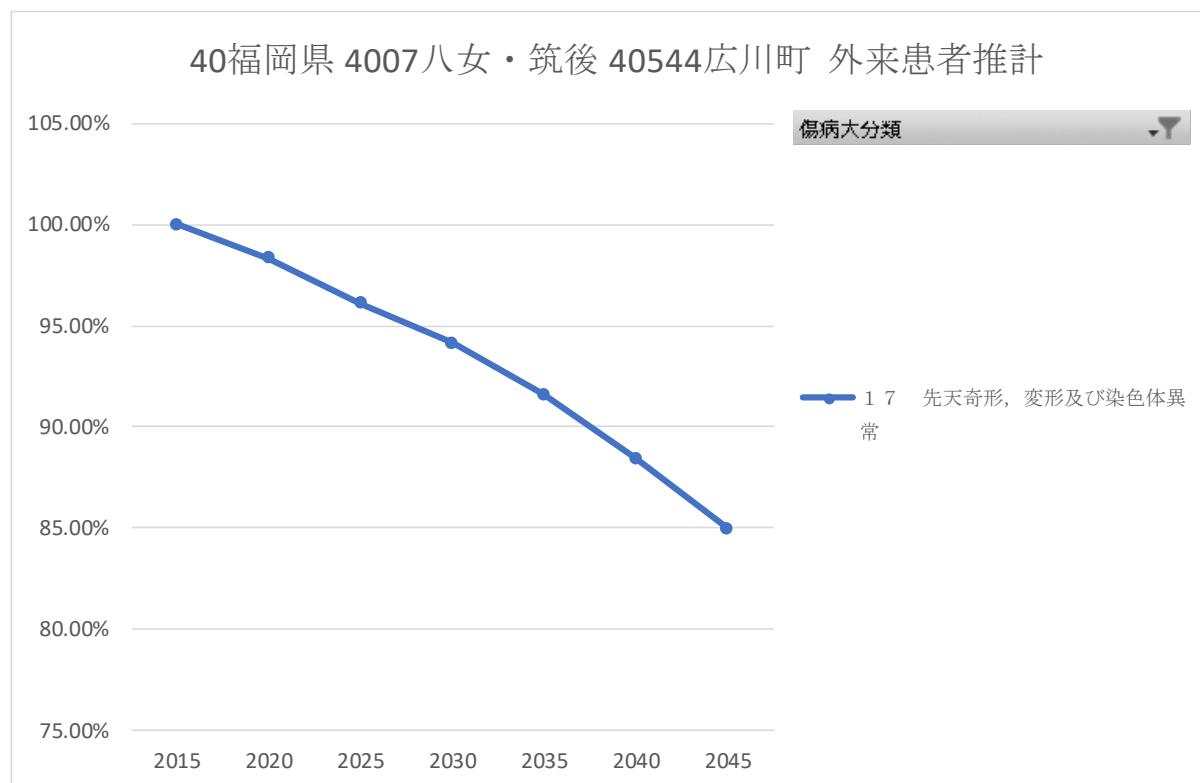


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

1 7 先天奇形，変形及び染色体異常

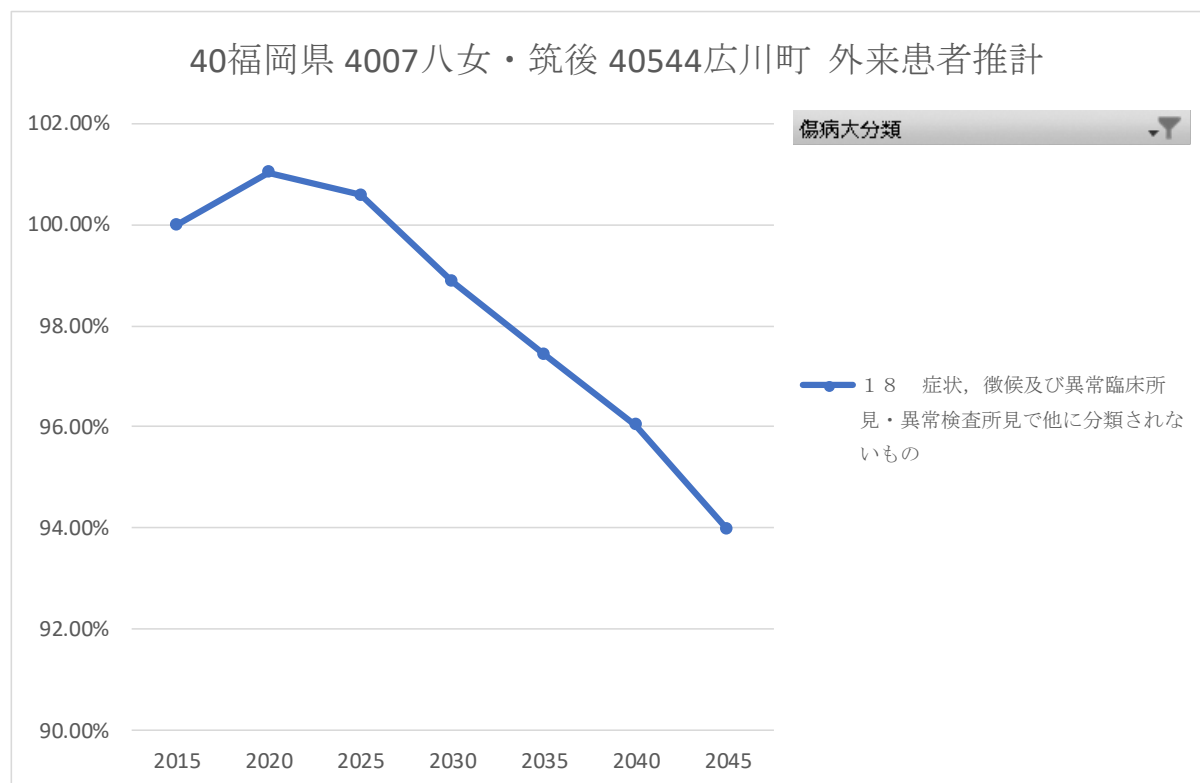


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

18 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

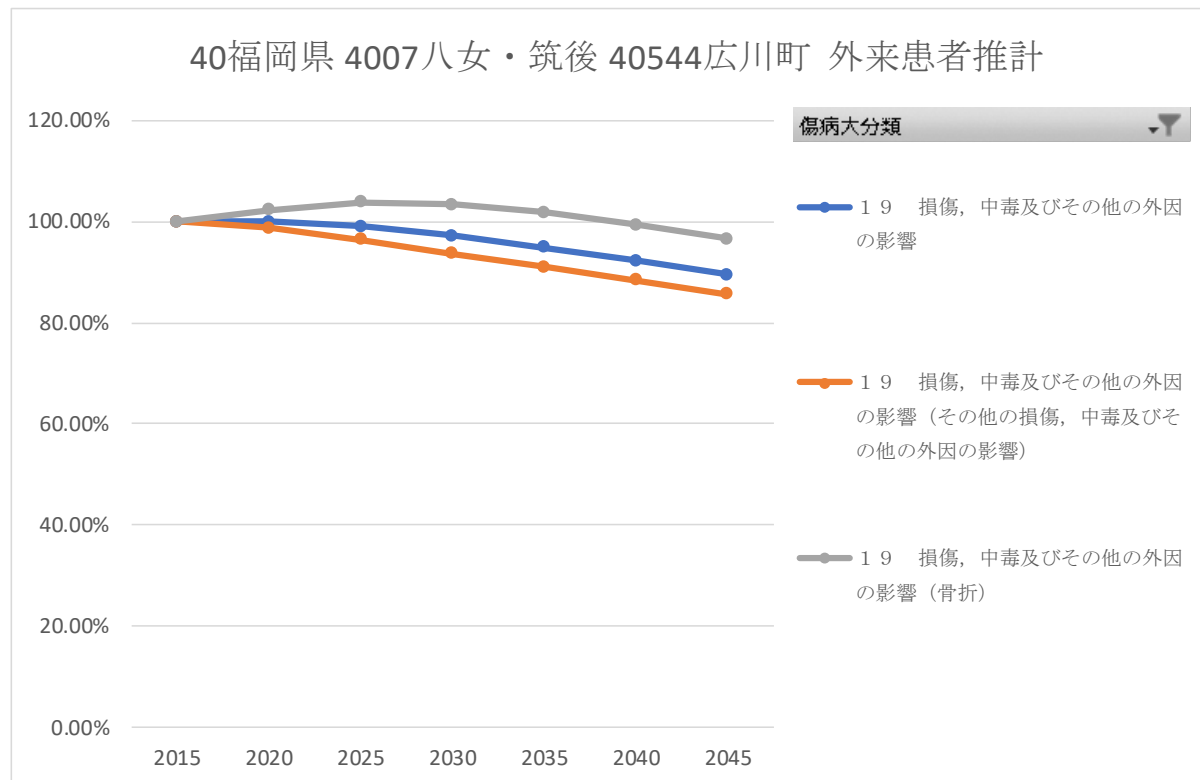


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司，酒井誉，久保達彦，藤野善久，松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

19 響音 損傷, 中毒及びその他の外因の影響



出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.